

横越

第25号 平成30年3月1日 (2018)
コミュニティ協議会ニュース
 発行 横越コミュニティ協議会
 事務所 江南区横越出張所
 新潟市江南区横越中央1丁目1番1号
 電話 025-385-2111



元旦の日の出 阿賀野川から五頭山をのぞむ (横越東町地先) 撮影 本間一人

横越コミュニティ協議会下半期の主なイベント		
実施日	イベント名	会場
H29.10.7	ボランティアデイ地下道清掃	JA新潟みらい農協横越支店前
H29.10.25	携帯型発電機操作訓練	江南区横越出張所
H29.11.18	ハッピーコサージュプロジェクト チューリップ球根植え	阿賀野川床固め公園
H29.11.19	ずっと「そば」に寄り添って そば打ちde合コン	横越農村環境改善センター
H29.11.23	「横雲橋百四十年」発行 記念講演会	江南区横越出張所
H29.12.1 ~ H29.12.29	「水郷の花嫁さんは船で行く」 写真コンテンツ 入賞作品展示	ANAクラウンプラザホテル新潟 6月・7月には横越出張所や横雲 荘でも展示
H30.1.8	新春!ふれあい餅つき大会	えんではよこごし
H30.1.14	新春!みなして行こてば寄席	横越地区公民館



「横雲橋百四十年」発行記念講演会



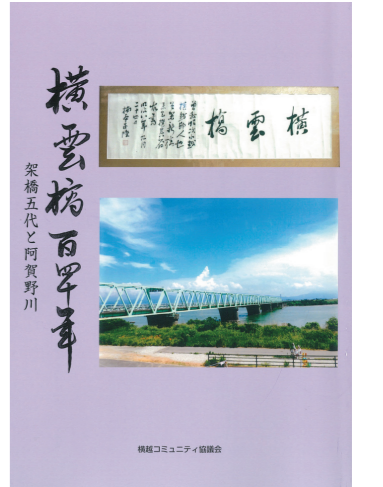
地下道清掃



地下道清掃



ANAクラウンプラザホテル新潟の展示



横越出張所にて1,350円で販売中

**携帯型発電機を
防災訓練や
地域イベントに貸出し中**

横越コミュニティ協議会では、地域の防災力向上のため、携帯型発電機を赤十字奉仕団とともに購入し、江南区横越出張所に保管しています。これは災害発生時、必要な地域で使っていただくためご用意したものです。

いざという時に誰でも操作できるように、地域の防災訓練やイベントにも貸出していますので、多くの人にお使いいただけます。お申し込みは、

貸出し申込み
 江南区
 横越出張所
 ☎385-2111

編集後記

暦の上では春とは言えまだまだ浅く、寒さの名残が感じられる日々が続いています。暖かな春の日差しを待ちわびながら、終わりゆく冬にほんの少し寂しさを感じます。

小学校三年生になり、社会の教科が増えた息子。授業で新潟市について勉強しているようで、車で出かけるたびに「ここは江南区横越なんだ!」「あ、変わったよ!」と楽しそうに話しています。

江南区はもちろん、地元横越についても、学んだことや教えてもらったことを、家に帰ると嬉しそうに教えてください。

「知る」ということはとても楽しいこと。そして嬉しいこと。そんなことを、息子から教えてもらった出来事でした。

本来こうした広報誌は、その「知る」を支えるもの。横越のまちづくりに携わる一人として、その「知る」を支え、「もっと知りたい」につながるような誌面づくりに貢献できたらと感じています。

「読むのが楽しみ」と思っていただけのような広報誌を作りたい。来年度からのこのコミ協ニュースを、ぜひお楽しみにしてください。

平成三十年三月
 教育文化部会 今井 麻奈美

春よ、来い

会長 佐藤 正明

今年には雪も多く、寒いさむい冬だったと思われず。寒波の影響で家庭風呂のトラブルが多かったのか、新潟市から指定管理を受けている「横雲荘」の利用者が多くありました。

しかしながら、築後三十年が経過している横雲荘は、水回りや設備のトラブルが多く、対応に苦慮しております。利用者の方々には迷惑をかけるまいと心掛けてまいります。

昨年には横越小学校五年生とチューリップの球根植えを行いました。植えた六千球のチューリップは四月中旬には見事に咲くことと思います。

主要地方道新潟中央環状線の整備が進められています。今年の三月末には、赤道(主要地方道新潟港横越線)から旧国道四十九号まで供用される予定で、引き続き横雲バイパスまでの区間の早期整備が望まれます。

(仮称)江南駅建設については、言い始めてから約三十五年が経過しましたが、ようやく一点の光明が見えてきたように思われます。

最後に、横越地区の喫緊の課題は、高齢化と少子化の問題であります。住みたい、住んで良かったまちづくりをしなければなりません。

北帰行も始まり、暖かい春がそこまでやって来ております。

そんな春よ、早く来い。

チューリップ染めにヒーロー

副会長 田村 唯次

昨年十一月十八日、沢海の床固め公園。雪まじりの寒さの中、横越小学校五年生と保護者・コミュニティ協議会関係者で、チューリップの球根六千球を植えました。今の五年生が、来年の卒業式で胸に付けるコサージュを染めるためのチューリップです。

平成五年に川根町の保護者有志の発案で、当時、横越で盛んに栽培されていた球根取り用チューリップの花で草木染をと始まり、二十五年続いているそうです。そんな大切なチューリップが、昨年危機だったことをお伝えしようと思います。

過去、阿賀野川の河川敷は春になると、何種類ものチューリップが咲き、大変キレイでしたが、今はずいぶん少なくなっていました。おまけに、チューリップ染めに使うのは、大型で黄色い一重咲きの「ゴールデンオック



スフォード」という品種だそうので、横越では栽培していないとのこと。ここで「ヒーロー」を紹介します。

昨年より、横小の地域教育コーディネーターを務めている小杉の鈴木修一さんです。彼はコーディネーターとして学校と地域の「人・もの・こと」をつなぐ役割を担い、市からその役目を委嘱されています。

さて、来年の球根が無いことに気づいてからが大変です。児童と保護者二百名分の布を染めるのに六千球が必要で、鈴木さんは希少なこの品種を探しだし、購入費は市と交渉するなどして工面しました。

次は畑作りです。二年間放置された公園の花壇は草が生え放題。八月下旬の暑さの中、一人で草刈りを終わらせ今度は耕うん。小杉から沢海までトラクターで出勤しての作業です。それも何日も。

十一月十八日の植付けでは、既に畝の上に無数の穴が掘ってありました。球根を植えるためのもので、六千以上あります。一穴三秒としても五時間かかる訳で、鈴木さんの頑張りに頭が下がります。今後は除草剤の散布、四月の花摘み、六月に球根を掘り取りし、球根は六年生から五年生に引き渡されます。

こういう経緯で二十五年続くチューリップ染めをつなぐことができました。今後も横小の伝統として受け継いでいってほしいと思います。頑張ってください。鈴木さんに拍手です。

新春！ふれあい餅つき大会

健康福祉部会 山本 美幸



「よいしょ！」とみんなで声をかけながら楽しく餅つきが行われました。

一月八日の成人の日、新春恒例の「新春！ふれあい餅つき大会」が開催されました。

「よいしょ！よいしょ！よいしょ！ぺったん！ぺったん！」と、威勢の良い掛け声が会場に響きました。

横越をはじめ、地元の小さなお子様からシニア世代など多くの方に参加いただきました。お餅と豚汁の振る舞いを行いました。約百五十人のみなさまと楽しく過ごすことが出来ました。

今年はお餅のあんこ付けや豚汁の調理などに地元のご婦人のボランティアの方たちも参加していただきました。餅つきの準備や会場の設営は四十代の男性ボランティアスタッフが中心になって行ってくださいました。

餅つきが開始され、お餅をひっくり返す「あいどり」の時のエピソードで



ご参加くださった皆様、ボランティアで協力くださった皆様、ありがとうございます。

新年に楽しみな催し物としてみなさまに喜ばれ、とても嬉しいです。

世代間交流の「新春！ふれあい餅つき大会」。

初めて来て下さった方もたくさんいらっしやいました。これを機会にまた気軽に来店して、お話に来てくださればいいと思います。

話して地域の問題や個々の悩みを解決する取り組みを行っています。

今年のは餅つきのベテランボランティアの方が入ってくださったので、「あく見てらんねてえ。どくれ、私

ながら餅つきを熟知したご婦人が手ほどきをする場面がありました。「こ

うやって、やるんだよ。わかったかね。笑」と言うと、笑い声が会場を

和やかにしていました。

今年の会場は私が代表を務める「えんではよこし」で行い、ずい

ぶん狭くてみなさまにはご不便をおかけしたと思いますが、ここではさ

まざまな世代が集まり、交流して、話して地域の問題や個々の悩みを解

決する取り組みを行っています。

初めて来て下さった方もたくさんいらっしやいました。これを機会に

また気軽に来店して、お話に来てくださればいいと思います。

話して地域の問題や個々の悩みを解決する取り組みを行っています。

今年のは餅つきのベテランボランティアの方が入ってくださったので、「あく見てらんねてえ。どくれ、私

ながら餅つきを熟知したご婦人が手ほどきをする場面がありました。「こ

うやって、やるんだよ。わかったかね。笑」と言うと、笑い声が会場を

和やかにしていました。

今年の会場は私が代表を務める「えんではよこし」で行い、ずい

ぶん狭くてみなさまにはご不便をおかけしたと思いますが、ここではさ

まざまな世代が集まり、交流して、話して地域の問題や個々の悩みを解

決する取り組みを行っています。

初めて来て下さった方もたくさんいらっしやいました。これを機会に

また気軽に来店して、お話に来てくださればいいと思います。

話して地域の問題や個々の悩みを解決する取り組みを行っています。

今年のは餅つきのベテランボランティアの方が入ってくださったので、「あく見てらんねてえ。どくれ、私

ながら餅つきを熟知したご婦人が手ほどきをする場面がありました。「こ

うやって、やるんだよ。わかったかね。笑」と言うと、笑い声が会場を

和やかにしていました。

今年の会場は私が代表を務める「えんではよこし」で行い、ずい

ぶん狭くてみなさまにはご不便をおかけしたと思いますが、ここではさ

まざまな世代が集まり、交流して、話して地域の問題や個々の悩みを解

決する取り組みを行っています。

そば打ちde(で)合コン

副会長 小野塚 智恵子

昨年十一月十九日(日)、沢海の横越農村環境改善センターにおいて「そば打ちde(で)合コン」を開催しました。今年も横越地区公民館と共催です。

今年で四回目を迎えたイベント。参加申し込みは男性十人、女性十四人の合計二十四人と、大勢の方から参加していただきました。市内だけではなく、長岡や新発田からご参加もありました。

過去三回の反省を踏まえ、今回は女性スタッフを中心に企画から行い、広報や募集方法、会場づくりや進行内容など、明るく華やかな雰囲気になるよう考えました。

横越産のそば粉を使って、そば打ちと一緒に楽しむ。まずは、人と人との出会いの場の提供。その先にご縁があれば、なお嬉し。楽しく参加してもらえんことを目指しました。

当日は、みぞれ混じりの肌寒い日でした。司会進行をフリーアナウンサーの比企裕子さん(江南区在住)にお願いました。和やかな雰囲気の中スタートし、比企さんの明るく軽快なトークに、場もすぐに和み、楽しく進んでいきました。前回の反省から、参加者同士の交流



の時間を多く確保できるよう、そば打ちの時は、女性グループが時間を区切って移動するなどの配慮をしました。

会食後のフリートークの時間も多めに設定、良い雰囲気の中、無事に終える事ができました。

結果、何組かのカップルが成立しました。今後、どのように進展していくかは分かりませんが、良い報告が聞けることを願っています。

最後に、上町の観音そばの会の皆様も快くご協力いただき、ありがとうございます。

来年も開催することがあれば、今年以上に良いイベントになるよう企画していきたいと思えます。

笑って健康、医療費減るかも？

教育文化部会 坪谷 さゆり

春なお浅く、朝夕の冷え込みもまだきびしい昨今ですが、皆さま風邪などひかれてはいませんか。いつも横越コミュニティ協議会の活動に、ご理解ご協力いただきありがとうございます。

このたび教育文化部会は、一月十四日(日)に、「第二回横越コミ協みななして行けば寄席」を開催いたしました。

前日の大学入試センター試験一日目は悪天候でしたが、次の日は打って変わって青空が広がる良き日になりました。

今回の出演者は江南区在住の水都家艶笑さん!!新潟市落語協会の会長をしていきます。お忙しい方なんです、早く引き受けてくださいました。(とてもフレンドリーな方)お客さまにもたくさん来て頂きました。

「落語」します!と企画すると、なんか小難しそうな「古典落語」かしら?と敬遠する人もいます。ですが、艶笑さんは、ほのぼのとしたお断をするので、どんな人にも受けます(笑)。

お断をはじめながら「今日のお客様はどんな断をしたら受けるか」をつかみ、幾つか選んできたお断の中から決めるのだそうです。落語で言えば「まくら」ということなんです。とにかく艶笑さんのお断に一気にひきこ



まれたお客様たちは、シワが五・六本ではなく十本くらい増えていたのではないかと私は想像いたします。

医学的にも、笑いの効能はあるようです。NK細胞(ナチュラルキラー細胞)が活性化して免疫機能が正常化するようですし、副交感神経が優位にたつてリラクスマードにしてくれるみたいです。インスリンを分泌する遺伝子の作用で血糖値の上昇を抑えるようです。

ストレスの多い現代社会、たまには大笑いして発散することで、頭も体も健康でいられるのが幸せです。余談ですが、医療費も抑えられたりするかもしれません。

来年度も、地域の皆さまのために色々な活動をしていきたいと思っております。